



高齢化社会における認知症施策について

問 全国的に高齢化が進む中で、特に認知症高齢者への支援について、国におきまして「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和6年1月1日に施行された。松原市では、「第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」が令和6年度から新たな3年間として策定される。まず、発症率について教えてください。

答 65歳以上高齢者の約16%が認知症であると推計されております。中でも80歳代後半では男性の35%、女性の44%が認知症との推計です。

問 認知症サポーター養成講座について

答 令和6年1月末現在で37回開催し、831人の方に受講していただいております。事業開始からの累計では12,495人となっています。また小学校へ出向くなど、様々な年代の方を対象に認知症サポーター養成講座を実施している。



問 小学校3年生では現在行っている養成講座、6年生または中学生では当事者と直接交流できるようなプログラム、こういう取り組みを本市でも行って頂けたらと思うが。

答 認知症であられる方との出会いを通じた学習についても、市の関係部署と連携しながら研究していく必要があると考えている。

要望 認知症基本法では、市町村はその実情に即した「認知症施策推進計画」を策定するように努めなければならないとしている。府の動向など様々なことについて注視して頂きながら、ご検討して頂けたらと思います。



活・動・報・告

令和6年度予算要望書を提出!!



64項目にまとめた要望を提出しました。この中から、松原市の令和6年度予算に数多くが反映されました。

市民体育館の空調についての陳情



国の補助金を活用できるように、衆議院会館へ訪問し市長と共に陳情しました。令和6年度予算で市民体育館アリーナの床改修と空調新設が実現します!!

大阪府赤十字血液センターより感謝状!!



昭和56年より開始した献血活動で延べ1万人を超えた功績に対し感謝状をいただきました。議員・支持者の皆様のおかげです。本当に有難うございました。

ポッチャ交流大会体験参加



ねっとまつばらフェスタ『交流ポッチャ大会』が開催され体験参加しました。

街頭演説毎月実施



松原市議団4人で毎月街頭演説を行っています。



公明党 KOMEITO

第31号

松原市議会ニュース

松原市議会公明党議員団

河内 徹 / 依田眞美子
藤林 伸一 / 太田和之



〒580-8501 松原市阿保1-1-1
電話 072-334-1550 (内線 2360)

松原市 令和6年度 予算要望に伴う主な実績



子どもインフルエンザ ワクチン接種費用助成

18歳以下の子どもを対象に接種費用の助成を実現しました。



自転車用ヘルメットの 子どもへの助成

小学校から高校生を対象に購入費用の一部助成を実現しました。



空き家対策事業



空き家利活用支援制度及び、相談体制の強化として「松原市空き家コンシェルジュ」を構築しました。

雨水対策について、 市内4つの河川整備の充実

若林地区の調整池が完成、若林・小川地区の既存水路を大きく改修します。



ひとり親家庭への支援

養育費の受け取りを確保できるよう、公正証書の作成費用への補助を実現しました。



保育所・幼稚園・認定こども園へ ICT機器の早期導入



わかばこども園及び(仮称)北認定こども園において、登降園システムを導入します。

がん患者アピアランス サポート事業

医療用ウィッグ・乳房補正具の購入費用の一部助成を実現しました。



補聴器購入費支援事業

50歳以上への補聴器購入費用の一部助成を実現しました。



結婚新生活応援補助金

家賃等の一部助成に加え住宅を新たに購入した世帯にインセンティブ補助金を実現しました。



奨学金返還支援事業

従業員の奨学金の返還を支援する中小企業に対し、経費の一部補助を実現しました。



災害対策事業

防災士資格取得の補助金対象年齢を中学1年生まで引き下げました。



市民体育館改修事業

アリーナ床の更新、空調機器を新設します。



チャレンジルームの拡充

現在の人権交流センターに加え、新たに三宅地区に新設します



各中学校体育館に 空調設備新設

各中学校(7校)の体育館に空調設備を新設します。



公明党 松原支部は、
4名で頑張っています!

市政に関することなど
お気軽にご相談ください。



依田 眞美子

令和6年 第1回定例会
代表質問

QRコードから
議会の映像が
見れます▶



市長の施政方針より 1.令和6年度予算について 2.安心・安全で活力を生み出すまちづくり(災害用備蓄品について・要支援者の個別の避難計画について・防災士との連携について) 3.人を育て人が輝くまちづくり(アドバンスト・インターンシップAIMについて・学校図書館の更なる充実について) 4.魅力を発信し市民と共に進めるまちづくり(松原市観光協会について・大阪 関西万博の開催に向けて・市制施行70周年記念事業にむけて) 5.公共施設の今後について(大塚運動広場について)質問をしました。初めての代表質問(質問時間60分)で沢山の項目を問いましたが全ては掲載できませんので抜粋してご紹介します。

令和6年度予算編成について

問 令和6年度は「まちづくりの3つの柱」と「基本計画の各施策」を推進するための予算編成と聞いているが、その特徴は？

答 人口獲得に向けた若者世代の移住・定住促進、安心して子育てのできる環境の整備など。また大阪・関西万博や令和7年2月の市制施行70周年を契機とした地域活性化など松原市の更なる発展につながる取組に重点をおいた。

災害用備蓄品について

問 備蓄量はどのように決めているのか？

答 最大規模の被害が想定される上町断層帯地震による避難者数17,700人を基準としている。

問 災害用備蓄品は、現在どのような物品を備えているのか？

答 府と協議した備蓄方針において重点11品目を備蓄している。アルファ化米、高齢者食、毛布、乳児用ミルク(粉・液体)哺乳瓶・乳児・小児用おむつ、大人用おむつ、簡易トイレ、生理用品、トイレットペーパー、マスクに加え、間仕切りやアルミ敷マット、簡易ベッド、アルコール消毒液等を備蓄している。

要望 大人用のおむつパットを用意すれば、おむつの枚数を減らせゴミも半減できるのではないかな。

防災士との連携について

問 防災士資格の取得費用の補助は、どのような内容か？

答 資格取得のための、講座費用、資格試験費用、資格登録費用、全て合わせて63,800円を、学生の場合は学生割引があり38,500円全額補助している。

問 令和6年度より補助対象を、現在の18歳～65歳までを12歳～65歳までに拡充されるがどのような理由か？

答 将来における防災の担い手を育成するため。

要望 各中学校に2名枠の予算を取っているとの事、ポスターを作成し各校に貼り、生徒への周知をしていただきたい。防災士会には60名を超える方が入会されている。今後町会・自治会の防災意識を高める活動を重ね、自主防災組織の拡充を図ってほしい。

アドバンスト・インターンシップAIMについて

問 どのような取り組みなのか？

答 令和4年度より教員を目指している大学生を対象に4、5名程度の学生がチームを組み、教育に関する様々な

課題について、研究テーマを決め、調査・分析・議論を重ねて、年度最終に政策提案を行うもの。

問 今後のAIMのありかたについては？

答 学生や教員免許保持者が、AIMを経験することで松原市で教員になりたいと思ってくれる人を増やしていきたい。また学生たちが研究発表した成果を教育行政に生かしていくことで、参加した学生、教育委員会の職員双方にメリットがある事業としてより良い方向に改善しながら継続していく。

学校図書館の更なる充実について

問 図書館司書の授業での活動は？

答 小学校では図書の時間の入り込みを行い、一緒に本を選んだり、読み聞かせ等を実施。中学校はテーマに沿って本を紹介し合う「ブックトーク」があり、本の紹介方法を実演し教員と連携しながら子どもたちの支援をしている。

要望 図書館司書などが派遣されている時間は、学校図書館が解放されいつでも行くことができ、様々な子どもの居場所になる。庁内には、司書の資格をお持ちの方がおられる。増員いただき派遣されていない学校図書館の充実を図りたい。

大阪・関西万博の開催に向けて

問 自治体催事として参加する「(仮称)大阪ウィーク」はどのような内容わかる範囲で教えて？

答 府内すべての市町村が連携して世界に向けて大阪の魅力や特色を発信する企画。会期中の5月、7～8月、9月の3期にわたり、各期10日間大阪の観光や、技術・産業・食文化などを来場者に体験してもらう。本市も食のブースやダンス、スケートボード等の企画を実施したいと考えている。

大塚運動広場について

問 市民のニーズに答える施設、運動広場になるよう現状とこれからについていかがか？

答 本施設がもつ交通利便性の良さを活かし、より一層多くの市民に利用される施設となるよう、民間のノウハウを取り入れた施設の設計・整備運営などを検討するとともに、用地の取得を進めていく。

要望 大会も開催されているテニスコートのベンチ、ネットを改修していただき、気持ちよくプレーできる設備にしていきたい。

河内 徹

杉参議院議員と懇談会を開催

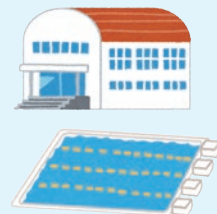


令和5年11月 参議院会館にて意見交換を行いました！

松原市の財政運営の在り方について、杉参議院議員と懇談会を開催させていただきました。

＊問題点

①現在、松原市では年間約40億円の借入償還をしているため、小中学校・文化会館・体育館・市民プールなどの施設が老朽化しているが、建て替えが進まない現状にある。



②下水道事業が現行の制度を活用しても資金不足になり、市民に負担増をお願いしないといけない状態にある。



＊国への要望

①国からの交付税算入率を引き上げるほか、老朽化による建て替えを行う際に、除却については交付税が算入できないため、施設の除却事業についても交付税算入の対象に含めてほしい。

②地方債同意基準の償還年限について、施設の耐用年数に応じた償還年限による借入が可能となるよう、(特に下水道事業においては10年間の差がある)同意基準を緩和してほしい。



実績

下水道事業における資本費平準化債制度の拡充が決定！！

償還年限までの借入が可能となり、下水道事業における資金不足が解消されました。これにより、市民のみなさんに負担増をお願いしなくてもよくなりました！！



太田 和之

令和5年 第4回定例会
一般質問

QRコードから
議会の映像が
見れます▶



松原市移住定住促進事業の更なる充実を

問 実際にこの3つの応援事業(新入学生・新社会人応援事業、新婚新生活応援事業)で転入している人数は？



答 1月から10月末までに新入学生53人、新社会人85人、新婚世帯112人の転入合計で250人の方が転入されています。

まとめ 今後は特に「住宅を購入された方またはされる方」を優遇されては如何でしょうか？市民にとって住宅購入は一生で一度の一大事業です。どうか、住宅をどこで購入しようかと悩んでいる方々が「松原市を永住の地に決める」決定打になるような政策になるよう本政策をさらに進化をさせて頂ければと思います。



6年度
予算決定

住宅購入世帯への
インセンティブ(上乘せ)が
決定しました！！

松原市の生徒指導上の諸課題について

問 不登校の児童生徒の対応については国から「登校という結果のみを目標としない」との方針が出ておりますが、登校以外の



支援(先)にはどのようなものがありますか？また、支援のそれぞれの内容についてお聞かせください。

答 教育委員会が運営しております松原市教育支援センター「チャレンジルーム」では、日常の学習支援や自主的な活動に加え、遠足や合宿などいろいろな活動を通して、そこに通う児童生徒どうしがつながり、安心・安全な居場所となるように努めております。

まとめ チャレンジルームの取組をさらに拡充をし、松原市内にもう一か所増設をして頂ければ、さらに不登校の生徒の為の、松原市の教育施策の新たな一歩前進になるものと思います。どうか、前向きなご検討をお願い致します。

6年度
予算決定

チャレンジルームの増設が
決定しました！！